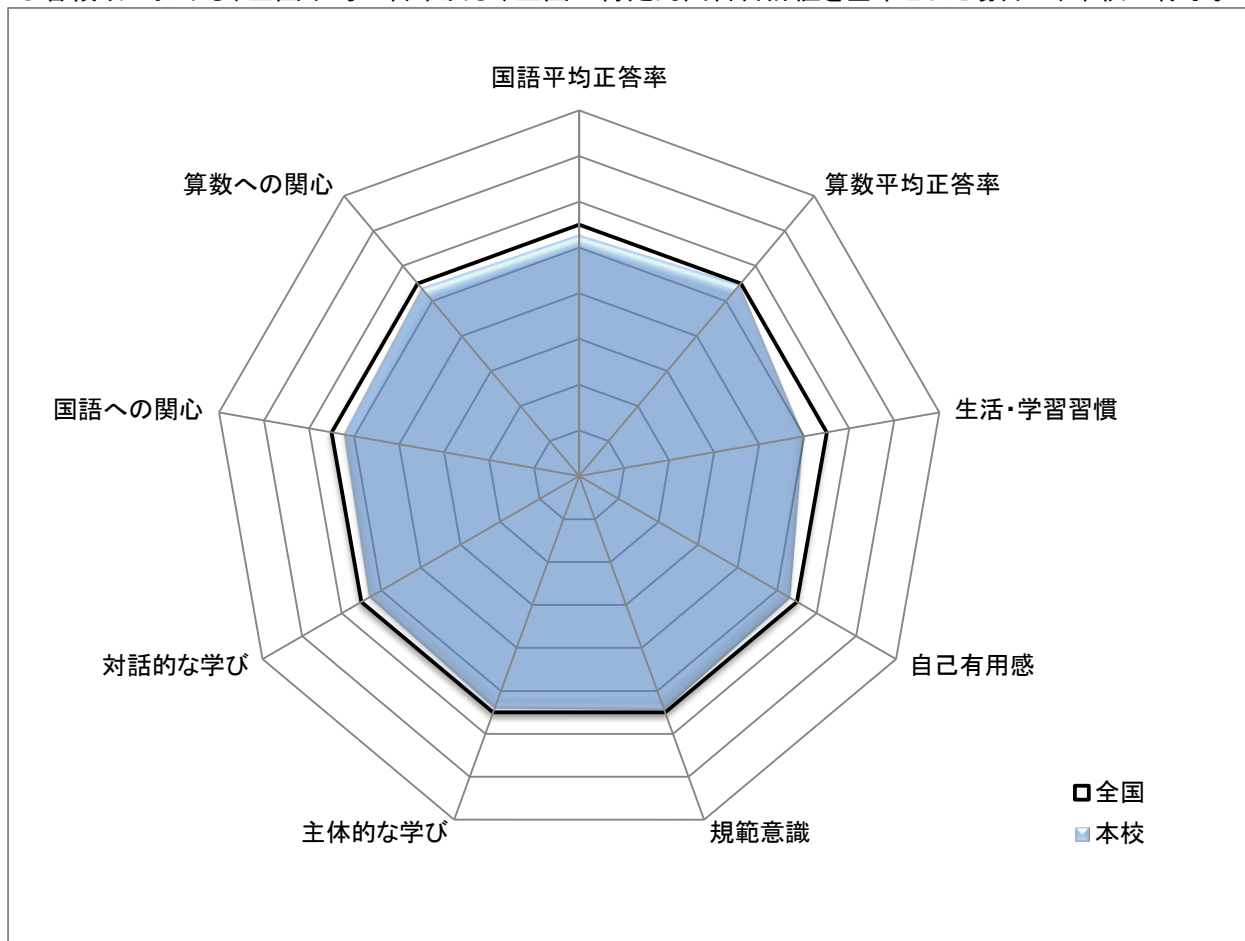


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

《現状分析 国語》
 ・国語は、全国平均と比較すると、3.2%下回る結果となった。
 ・情報に基づいて自分の考えを記述したり、筋道を立てて表現したりする問題において、特に平均を下回る結果となっている。

《現状分析 算数》
 ・算数は、全国平均では0.5%、都平均では5%下回った。
 ・「A数と計算」「B図形」「C変化と関係」の領域で都平均を5%程度下回る結果である。B, C, Dの領域では、全国平均は上回っている。

《授業改善のポイント》

- ・最後まで丁寧に問題に取り組み、目標を達成できたことには称賛する指導を行う。
- ・スモールステップの学習や、学習に対する意欲が高まる仕掛けを取り入れることで、主体的な学習を促す。
- ・教師が児童一人一人のよさを見つけて認める声掛けを行うことで、自信や意欲をもって取り組めるようにしていく。
- ・授業の目標を子供たちに示し、視点を持ちながら学習の振り返りを文章で書いたり、なぜそう考えたのか理由を付けて説明したりする活動を取り入れる。自分の考えを表現する経験を継続的に引き、書く習慣を身に付ける。
- ・話し合い活動などを意識的に関連付けることで、自分の考えをまとめたり、整理したりする力を身に付ける。

《チャートの特徴》

- ・バランスが良いが、全ての項目において全国平均と比較すると、少しずつ下回っている。
- ・特に生活・学習習慣は全国平均を下回っている。家庭で規則正しい生活をしたり、家で学習したりする習慣が身に付いていない児童が多いことがわかる。
- ・5年生までの学習が定着しておらず、基礎的な学習内容が応用的な学習と結びついていない。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・より家庭との連携を図り、規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けられるようにする。
- ・学校から地域や家庭に積極的な情報発信をして、家庭学習の意義を伝えて継続した取り組みを促していく。